［有明抄］（2018.3.2）

年　　組（氏名）

○「大陸移動説」、ウェゲナーついて、調べてみよう。

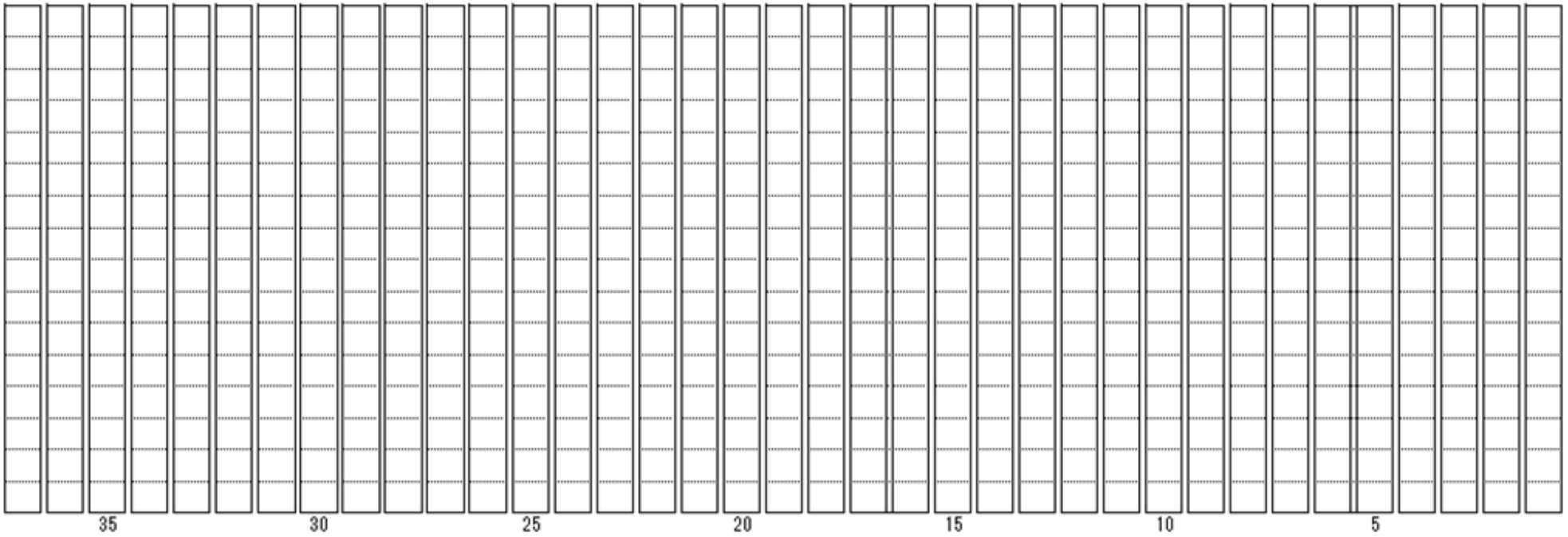
○なぜ「働き改革」がいわれるようになったのか（背景）について、
新聞記事などから調べてみよう。

○「働き方改革」について、自分の意見を書いてみよう。

＊基本シート「FAVORITEノート」を利用して、関係のある記事を集めよう。

さが維新塾

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

「大陸移動説」を唱えたドイツの地球物理学者ウェゲナーは、自らにこう問いかけた。「手に入ったデータを全部使わないで、その一部分だけに基づいて判断をくだす裁判官があるとしたら、われわれはどんな評価をくだすだろうか」と◆大陸が移動するという壮大なアイデアを検証するに当たって、新たなデータを求め続けた。その言葉通り、1930年に亡くなるまでに、大陸移動説をまとめた大作『大陸と海洋の起源』（岩波文庫）は第4版まで全面的に書き直された◆そんな誠実な姿勢は、官僚や政治家にも求められよう。「働き方改革」の雲行きがいよいよ怪しい。目玉政策の「裁量労働制」の裏付けデータがあまりにもずさんで、さすがの安倍首相も「実態把握をしない限り、前に進めない」とお手上げ。今国会への提出をあきらめた◆長時間労働を改めるという建前そのものは、多くの支持が得られるだろう。だが、「裁量制で働く人の労働時間は、一般労働者よりも短い」という説明には、首をひねった人が多かったはずだ。むしろ、この制度が広がれば、歯止めなき残業につながりかねないと考えるほうが自然だからだ◆この国で認定された過労死は96件、過労自殺は93件（2015年度）。この数字の向こうで、どれだけ多くの人々が苦しんでいるのか。薄ら寒い思いがする。（史）